

## 千松山本性寺略年譜

慶安 4年	1651	10月、日達上人、当山を開創し、千松山本性寺と号す
明歴 3年	1657	日達聖人、両山中興23世となり、本能寺を中興す
万治 3年	1660	日達聖人、谷中妙泉寺を開創し、7月1日に遷化す
元禄 11年	1698	善兵衛(秋山自雲)生まれる
元禄 15年	1702	当山、本生寺を現在の本性寺とす
享保 元年	1716	紀州・徳川吉宗、八代将軍位を継ぎ『享保の改革』を行う
同 9年	1724	火災に罹り諸堂宇灰燼と帰す
元文 3年	1738	善兵衛(岡田孫右衛門)、痔疾に悩み諸医に治療を受けるが快癒せず
寛保 元年	1741	善兵衛(岡田孫右衛門)薙髪して当山・題目共に籠もり、読経三昧にふける
延亨 元年	1744	善兵衛(岡田孫右衛門)、仏師に己の像を刻ませ、「痔疾に悩む諸人、 題目を信仰すればこれを救護す」と誓願す 同年9月21日、善兵衛(岡田孫右衛門)示寂 法号・秋山自雲。当山境内に葬し 像を題目堂に安置す。のち親族知己の者、痔疾に罹り、題目堂に祈念したちまち 快癒す。その靈験いちじるしく、諸国に広まり、いらい参詣人あとをたたず
延亨 3年	1746	3月、火災に罹り諸堂宇焼失
宝歴 3年	1753	9月、『秋山自雲靈神縁起』、日生上人によって記さる。
宝歴 7年	1757	日生上人、当山中興す。能興両山より一代色衣を賜る
明和 2年	1765	檀信徒の外護により堂宇建立。
明和 9年	1772	2月、江戸の大火(目黒行人坂の火事)。当山も再び類焼。
(安永元年)	1772	10月10日、当山7世・日生上人、寺容を整え中興す。
亨和 3年	1803	11月『秋山自雲靈神縁起』
天保 元年	1830	左大臣・二条斉信、痔疾を患い、大夫をもって代拝祈念す。たちまち快癒、功雄と諡号を賜う。
同 11年	1840	7月、題目堂再建
安政 2年	1855	江戸大地震。当山本堂倒壊す。
慶応 4年	1868	江戸幕府崩壊。明治新政府樹立。神仏分離令が布告され廃仏毀釈運動広まる。
明治 38年	1905	日露戦争終わり、庶民信仰隆昌す。当山も参詣人で賑わう。
大正 12年	1923	関東大震災。当山全焼す。
同 15年	1926	檀信徒の外護により堂宇再建す。
昭和 20年	1945	3月、当山東京大空襲禍により焼失
昭和 34年	1959	現本堂建立す。
昭和 48年	1973	本性寺信徒会館建立
昭和 56年	1981	日蓮大聖人700遠忌、宗祖説法像を造立し、題目堂を再建
平成 4年	1992	客殿千松閣建立。台東区区民斎場として地域の人々に広く使用される。